

I. 食肉衛生検査所の概要

1. 管内の概要

滋賀県は、西に比良山系、東に鈴鹿山脈、中心に琵琶湖を擁し、青い湖と緑の山々に囲まれた豊かな自然環境の中に位置する。この豊かな自然に生まれ、琵琶湖は近畿の水がめとして、また近江米・近江牛の生産地として古くからその名声を博している。特に湖東地域などには、大中地区など我国で有数の大規模肉牛肥育地域があり、近江牛の生産地となっている。

日本人の食文化のなかで食肉文化は大きな位置付けを持つようになり、また、国際化の流れのなか消費者のニーズは量から質へと移り、また、安全に加えて、安心が確保されることが大きな流れになり、当所は、これらのニーズに応えるべく、より衛生的かつ安全でおいしい食肉・食鳥肉の供給基地として重要な役割を果たしている。

2. 沿革

- (1) 昭和 52 年 4 月 1 日：従来、各と畜場を所管する保健所の衛生課でと畜検査を実施していたが、検査の充実を図るため、一元化を行い近江八幡市武佐町 351 - 3、近江八幡市と畜場内事務所の一部(81.00 m²)を借用し、滋賀県食肉衛生検査所が設置された。
- (2) 昭和 55 年 3 月 25 日：庁舎が近江八幡市武佐町 348 - 1 に完成した。
- (3) 平成 4 年 4 月 1 日：食鳥検査を開始した。
- (4) 平成 7 年 4 月 1 日：豊郷と畜場が閉鎖された。
- (5) 平成 13 年 10 月 18 日：BSE スクリーニング検査を開始した。
- (6) 平成 19 年 3 月 23 日：京滋畜産(株)大津と畜場が閉鎖された。
- (7) 平成 19 年 3 月 31 日：近江八幡市と畜場が閉鎖された。
- (8) 平成 19 年 4 月 1 日：滋賀食肉センターが操業を開始した。

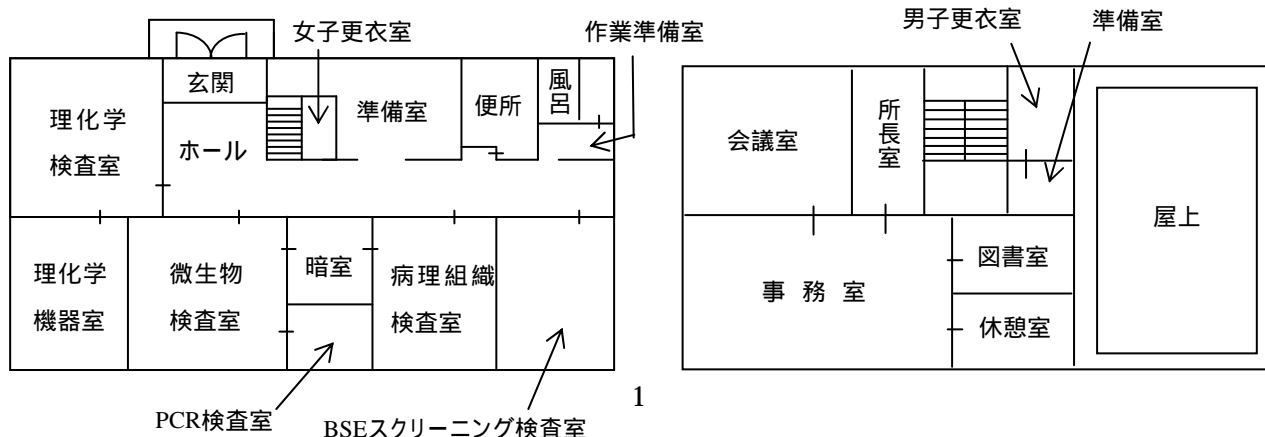
3. 庁舎の概要

- (1) 位置：近江八幡市武佐町 348 - 1
- (2) 建物：庁舎、鉄骨造 2 階建、1 階 (252m²) 2 階 (156m²)
附属建物：車庫、倉庫、廃棄物保管庫、病畜用生体検査所(45.5m²)
- (3) 敷地面積：1,290.61m²

庁舎配置図

1 階平面図

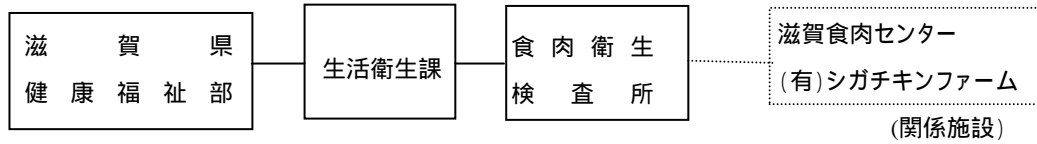
2 階平面図



4. 管轄および所管対象施設

管轄区域は県下一円とし、1か所のと畜場および1か所の大規模食鳥処理場を所管する。

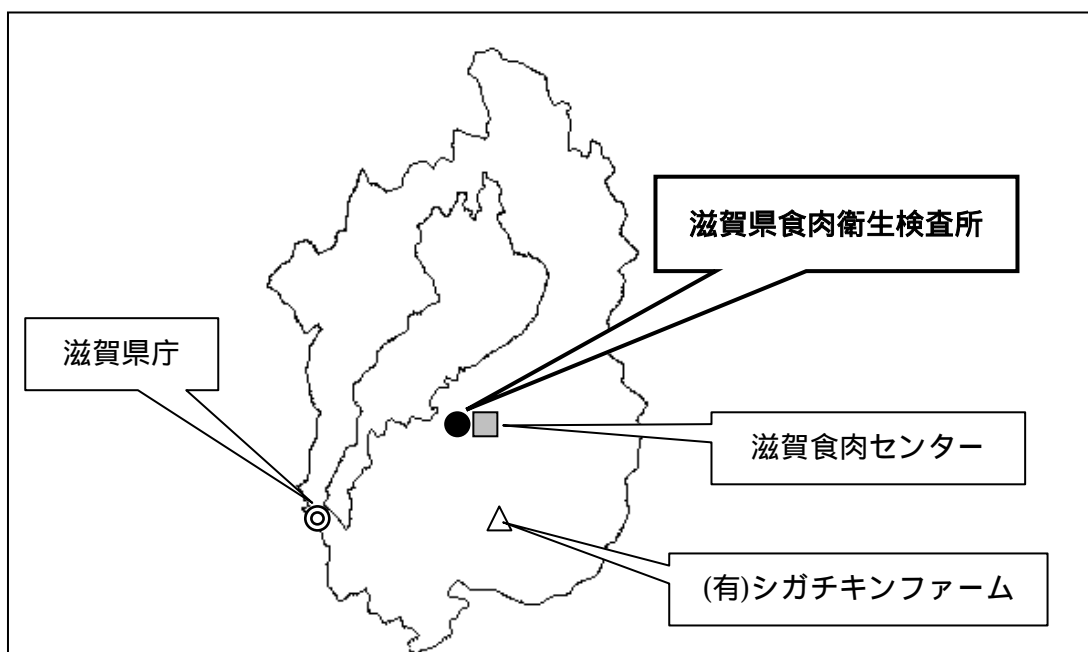
5. 組織（平成19年4月1日現在）



6. 構成人員（平成19年4月1日現在）

職名	事務	技術	計
所長		1	1
次長		1	1
主幹		1	1
副主幹	1	3	4
主査		2	2
主任技師		1	1
技師		3	3
臨時的任用職員 (育休代替嘱託職員)	1	(2)	(2)
計	2	12 (2)	14 (2)

7. 食肉衛生検査所および関係施設所在地（平成19年4月1日現在）



8. 業務の内容および範囲

(1) 業務の内容

滋賀県行政組織規則(昭和 51 年 4 月 1 日滋賀県規則第 16 号)

第9条 前2条に規定する地方行政機関または地方行政機関の課、係および支所の分業事務は、次のとおりとする。

食肉衛生検査所	(1)と畜業者、と畜作業員およびと畜場の衛生指導に関すること。
	(2)獣畜のと畜検査および精密検査に関すること。
	(3)食肉の試験調査および調査研究に関すること。
	(4)統計調査および報告に関すること。
	(5)食品衛生に関すること。
	(6)食鳥処理および食鳥検査に関すること。

(2) 業務の範囲

滋賀県事務委任規則(昭和 55 年 2 月 26 日滋賀県規則第 10 号)

(食肉衛生検査所長への委任事項)

第8条 次に掲げる事務は、食肉衛生検査所長に委任する。

- (1) と畜場法第 7 条第 6 項の規定による衛生管理責任者の設置または変更の届出の受理
- (2) 同法第 8 条の規定による衛生管理責任者の解任命令
- (3) 同法第 10 条第 2 項において準用する同法第 7 条第 6 項の規定による作業衛生責任者の設置または変更の届出の受理
- (4) 同法第 10 条第 2 項において準用する同法第 8 条の規定による作業衛生責任者の解任命令
- (5) 同法第 13 条第 1 項第 1 号の規定による獣畜のとさつの届出の受理および同条第 3 項の規定による取扱方法等の指示
- (6) 同法第 14 条の規定による獣畜の検査
- (7) 同法第 16 条の規定によるとさつ解体の禁止等の措置命令
- (8) 同法第 17 条第 1 項の規定による設置者等からの必要な事項の報告の徴収および立入検査
- (9) 同法第 18 条第 2 項の規定によると畜業者等に対するとさつおよび解体の業務の停止および禁止命令
- (10) と畜場法施行令(昭和 28 年政令第 216 号)第 4 条第 2 号の規定による獣畜のとさつ許可
- (11) 同令第 5 条第 1 項第 1 号から第 3 号までの規定による牛の皮および卵巣ならびに獣畜の肉等の持出許可
- (12) 同令第 9 条の規定による検査に合格した肉等の検印
- (13) 滋賀県と畜場法施行細則(昭和 29 年滋賀県規則第 45 号)第 4 条の規定による管理者の設置または変更の届出の受理
- (14) 同細則第 6 条の規定によると畜業営業届出の受理
- (15) 同細則第 18 条第 2 項第 1 号に規定すると畜業の廃業届出の受理
- (16) 牛海綿状脳症対策特別措置法(平成 14 年法律第 70 号)第 7 条第 2 項の規定による牛の特

定部位の使用および焼却免除の許可

(17) 食品衛生法第 28 条第 1 項(同法第 62 条において準用する場合を含む。)の規定による営業者等からの必要な報告の徴収、営業の場所等への臨検、食品等の検査および食品等の収去(と畜場および大規模食鳥処理場に係るものに限る。)

(18) 同法第 30 条第 2 項(同法第 62 条において準用する場合を含む。)の規定による監視指導(と畜場および大規模食鳥処理場に係るものに限る。)

(19) 同法第 54 条(同法第 62 条において準用する場合を含む。)の規定による食品、添加物、器具または容器包装の廃棄命令および食品衛生上の危害を除去するための必要な措置命令(と畜場および大規模食鳥処理場に係るものに限る。)

(20) 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律第 3 条の規定による食鳥処理の事業の許可(同法第 16 条第 1 項の認定を受けた食鳥処理業者以外の食鳥処理業者(以下「大規模食鳥処理業者」という。)に係るものに限る。)

(21) 同法第 6 条第 1 項の規定による構造または設備の変更の許可(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(22) 同法第 6 条第 3 項の規定による許可申請内容の変更または構造もしくは設備の軽微な変更の届出の受理(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(23) 同法第 7 条第 2 項の規定による承継の届出の受理(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(24) 同法第 8 条または第 9 条の規定による食鳥処理の事業の許可の取消しおよび停止処分(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(25) 同法第 9 条の規定による食鳥処理場の整備改善命令および使用禁止処分(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(26) 同法第 12 条第 6 項の規定による食鳥処理衛生管理者の設置または変更の届出の受理(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(27) 同法第 13 条の規定による食鳥処理衛生管理者の解任命令(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(28) 同法第 14 条の規定による食鳥処理場の廃止、休止または再開の届出の受理(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(29) 同法第 15 条第 1 項から第 3 項までの規定による食鳥検査(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(30) 同法第 20 条の規定による衛生上危害を防止する措置(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(31) 同法第 37 条第 1 項の規定による食鳥処理業者等からの業務の状況の報告の徴収(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(32) 同法第 38 条第 1 項の規定による食鳥処理場等への立入検査および食鳥とたい等の収去(大規模食鳥処理業者に係るものに限る。)

(昭 63 規則 25・平 4 規則 24・平 9 規則 24・平 12 規則 95・平 15 規則 57・平 16 規則 19・一部改正)

9. 予 算 (平成 19 年度決算額)

(1) 歳入

科 目	決算額 (円)
検 査 手 数 料	6,617,308

(2) 歳出

科 目	決算額 (円)
報 酬	2,162,518
共 済 費	265,365
賃 金	1,744,140
報 償 費	2,142
旅 費	3,662,973
需 用 費	14,844,718
役 務 費	3,408,959
委 託 費	531,720
使 用 料 お よ び 賃 借 料	40,760
備 品 購 入 費	6,168,694
負 担 金 補 助 お よ び 交 付 金	71,000
公 課 費	34,000
計	32,936,989

10. 検査手数料 (平成 19 年 4 月 1 日現在) 滋賀県使用料および手数料条例第 2 条

(1) と畜検査手数料

牛、馬 (子馬を含む) 一頭につき 400 円
 とく、豚、羊、山羊 一頭につき 200 円

(2) 食鳥検査手数料

一羽につき 4 円

1.1.設置している主な検査機器

微生物検査部門	理化学検査部門	病理検査部門
安全キャビネット	ドラフトチャンバー	ディスカッション式顕微鏡
双眼顕微鏡	遠心分離機	マイクローム
乾熱滅菌器	ホモジナイザー	パラフィン溶融器
顕微鏡位相差装置	超音波ホモジナイザー	臓器撮影装置
電動式ターンテーブル	ロータリーエバポレーター	実体顕微鏡
落射蛍光顕微鏡	ガスクロマトグラフ	クリオスタット・マイクローム
電気高圧滅菌器	色彩色差計	顕微鏡カラーテレビ装置
PHメーター	電気定温乾燥機	システム顕微鏡
バイオクリーンベンチ	全自動蒸留水製造装置	自動固定包埋装置
振盪培養装置付恒温水槽	恒温水槽	スライド作成装置一式
炭酸ガス培養器	ウルトラディスペーサー	顕微鏡デジタル撮影装置
ベーシック天秤	PHメーター	振盪器
ストマッカー	循環アスピレーター	メディカルフリーザー
実習用顕微鏡	分光光度計	ドラフトチャンバー
ウォーターバス(インキュベーター)	万能シェーカー	
洗浄器(オートワッシャー)	耐震薬品庫	BSE 検査部門
DNA増幅装置	天秤(電子)	オートクレーブ
電気泳動ゲル撮影装置	水分測定機器(電子水分計)	高速遠心分離器
トランスイルミネーター	超音波洗浄器	安全キャビネット
微量高速冷却遠心機	サーモアルミバス	インキュベーター
電気泳動装置	動物用生化学自動分析装置	低温インキュベーター
電気泳動ゲル脱色ローター	卓上遠心機	保冷库
アイススライサー		アルミブロック恒温槽
Dynabeads 用専用磁石板		化学天秤
シーソー式振盪台		卓上細胞破碎機
プログラム低温恒温器		マイクロプレートリーダー
超音波ピペット洗浄器		マイクロプレートウォッシャー
インキュベーター		
サーモアルミバス		

[と畜検査の概要へ](#)